



**\*ミズキ**  
(林内池周辺多数)

季節のできごと

- ・畑が耕されました。夏野菜を植えました。
- ・白い花が目まがしい、華やかな季節を迎えました。
- ・休園の機会に園全体の整備を進めています。

**エゴノキ**



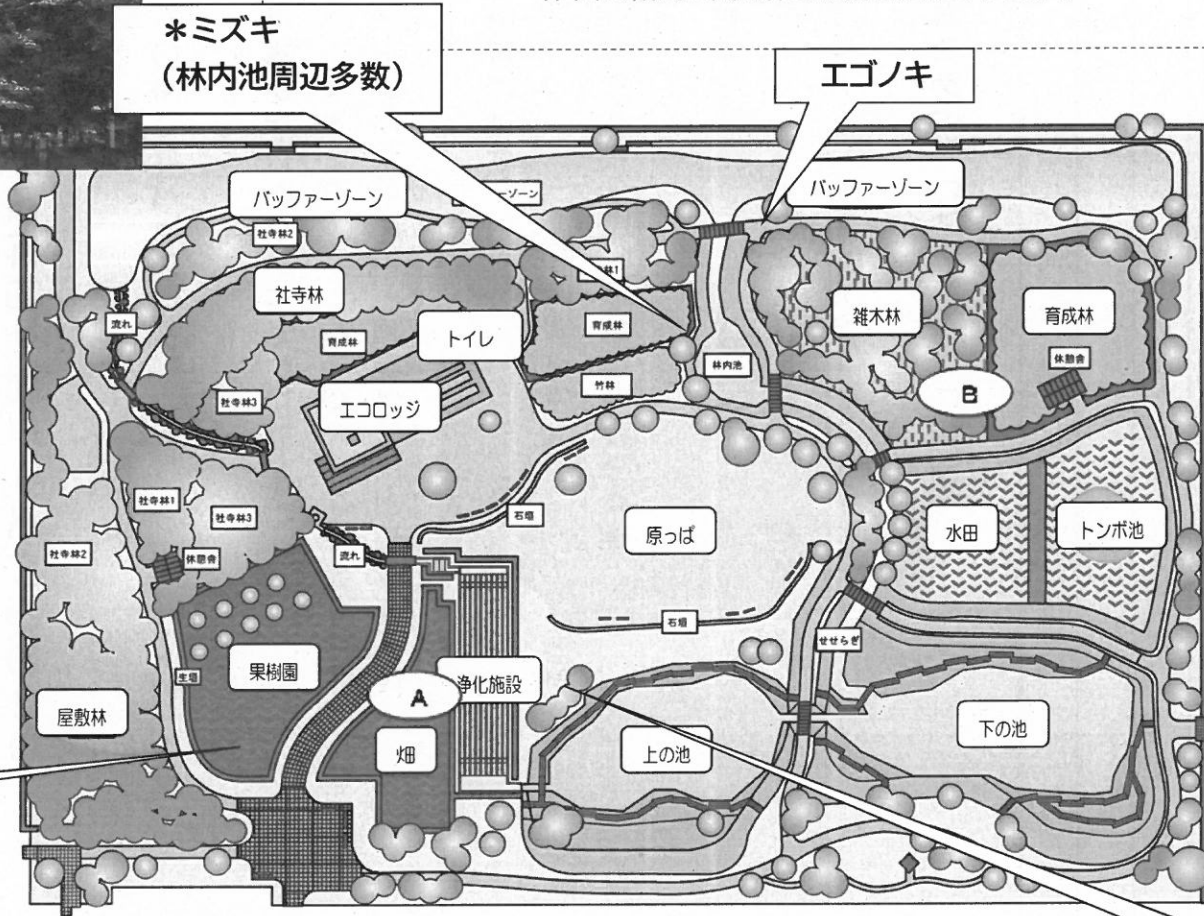
ジャコウアゲハ



ツマグロヒョウモン



ビワの実



ヘビイチゴ



**ノイバラ**  
(園内多数)

でいりくち  
出入口

てんぼうしつ  
展望室

\*印は、裏に説明があります。

読んで参考にして下さい。

ちょう しょくそう  
 ❀❀ 蝶と食草 ❀❀

ちょう せいちゆう くち じょう せいちゆう はな みつ じゆえき く さくだもの する  
 蝶の成虫は口がストロー状になっていて(口吻)、花の蜜や樹液、腐った果物の汁など  
 えきたい の せいちゆう はな みつ す はな しゆるい とく かぎ  
 液体のものを飲みます。成虫が花の蜜を吸うとき、花の種類は特に限られませんが、  
 ちょう しゆるい この こ ちょうふん なが みつ す  
 蝶の種類ごとにそれぞれ好みがあります。また、口吻の長さによって蜜が吸える  
 はな しゆるい かぎ  
 花の種類も限られてきます。

ようちゆう ばあい しゅ なかま かぎ しょくぶつ た たと  
 幼虫の場合はその種(仲間)ごとに限られた植物しか食べません。例えばモンシロチョウ  
 ばあい ははちよう たまご う か しょくぶつ さが は さんらん  
 の場合、母蝶は卵を産むときにアブラナ科の植物を探しあてて、その葉などに産卵します。  
 ようちゆう まちが しょくぶつ た がし えさ  
 幼虫は間違った植物を食べないので、そうしないと餓死してしまいます。このように餌とする  
 しょくぶつ ちが しぜんかんきよう ゆた おお しゅ ちょう み  
 植物が違いため、自然環境が豊かなほど多くの種の蝶が見られるのです。

せいたいえん み ちょう おも しょくそう しょくじゅ かせん き しょくぶつ せいたいえん  
 生態園で見られる蝶の主な食草・食樹です。下線の木や植物は生態園にあります。

- ジャコウアゲハ: ウマノスズクサ類
- アオスジアゲハ: クスノキ、タブノキ、ヤブガラシ
- アゲハ(ナミアゲハ): カラタチ、サンショウ、ミカン類
- キアゲハ: セリ、ニンジン、パセリ
- クロアゲハ: カラタチ、ミカン類、カラスザンショウ
- ゴマダラチョウ: エノキ、エゾエノキ
- コムラサキ: ネコヤナギ、カワヤナギ
- ツマグロヒョウモン: パンジー、スミレ類
- ヒオドシチョウ: エノキ、ヤナギ類
- コムシジ: クス、フジ、マメ科植物
- ベニシジミ: スイバ、ギシギシ、タデ類
- ヤマトシジミ: カタバミ
- ツバメシジミ: シロツメクサ、ゲンゲ、クサフジ
- キタテハ: カナムグラ、ホソバイラクサ
- モンキチョウ: ムラサキツメクサ、スズメノエンドウなどマメ科植物
- モンシロチョウ: キャベツ、ブロッコリーなどのアブラナ科植物



❀❀ ミズキ ❀❀

しんりよく きぎ おおぎじょう  
 新緑の木々のなか、扇状に  
 ひろ えだ しょうめん しろ はな  
 広がった枝の上面に白い花が  
 みつしゅう さ  
 密集して咲いているのは  
 ミズキです。



かいだんじょう どくとく じゆけい よ  
 階段状の独特の樹形から「テーブル・ツリー」とも呼ばれています。  
 ちちゆう たいりよう みず す あ そうしゆん めが ころ えだ お  
 地中から大量の水を吸い上げ、早春に芽吹く頃に枝を折ると、  
 みず じゆえき したた わめい  
 水のような樹液が滴ることから「ミズキ」の和名がつけられました。  
 みき いろ ぶぶん したた お じゆえき とうぶん ぐさちゆう  
 幹にオレンジ色の部分があったら、滴り落ちた樹液の糖分と空気中  
 きん  
 の菌がついたものです。

せいちよう はや ざい しろ やわ かこう  
 ミズキは成長が早く、材は白く柔らかく加工がしやすいため、  
 こけしやこまなどに利用されています。  
 おな じき えださき しろ ほしがた はな た さ  
 なお、同じ時期に枝先に白い星型の花が垂れ下がるように咲いて  
 いるのはエゴノキです。



せいたいえん しょかへん  
**生態園マップ 2020 初夏編**  
 せいたいえん しょうわ ねんだい さいたまけんとうぶ さとやま しぜんかんきよう  
 生態園は 昭和30年代の埼玉県東部の里山の自然環境を  
 ふくげん けんきゆう がくしゅう  
 復元した研究と学習のためのフィールドです